



宜総務第 255 号—2  
令和 5 年 12 月 5 日

宜野湾市議会議長 呉屋 等 殿

宜野湾市長 松川 正則



宜野湾市議会からの政策等の提言について（回答）

平素は、執行部の行政運営に多大なご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。  
令和 5 年 9 月 28 日付け宜議第 333 号にて提言のありました標記のことについて、下記のとおり回答いたします。

記

1. ペットボトル収集回数が増について

生活環境の変化に伴い、商品容器として使用されるペットボトルの割合は増加傾向にあると考えられ、回収日までの保管に苦慮しているとの声が寄せられている。

現在、本市のペットボトルの回収日は2週に1回となっているが、沖縄市や北谷町等の近隣自治体では週1回の回収を実施している状況に鑑み、本市でもペットボトルの回収を週1回実施していただきたい。

【 回 答 】

本市の「ごみの分別・収集」については、これまで、草木の定期収集日の設定、粗大ごみ収集業務の改善（待ち時間の短縮）、ごみ収集の完全門前化等、優先度の高い課題から順次対応をさせていただいてきたところです。

ペットボトルの収集に関する課題につきましても、市民ニーズ等を踏まえ、実情を把握するための情報収集を行いつつ、今後、他市町村との意見交換も進めながら、調査研究してまいります。

## 2. 市内公園におけるバスケットボールができる環境整備について

FIBA バスケットボールワールドカップ 2023 の開催や琉球ゴールデンキングスの活躍により、本市においてもバスケットボールに対する関心が高まっており、市内公園においてバスケットボールができる環境を整備してほしいとの声が多く寄せられている。

これに鑑み、現在再編計画が進められている海浜公園へのバスケットボールコートや、その他の市内公園においても、騒音等の問題解決を含め、バスケットボールができる環境整備を実施していただきたい。

### 【 回 答 】

海浜公園には、FIBA バスケットボールワールドカップ 2023 開催地支援協議会より寄贈された可動式バスケットリングを、大会中はビーチ側に設置し、利用者に喜ばれていました。現在は、体育館側に移動し利用していただいております。

海浜公園施設等再編計画では、こども広場のビーチ側、サブグラウンドにバスケットボールコートの設置が出来ないか検討してまいります。

バスケットボールコート及びリングを設置していました市内の公園については、公園周辺にお住まいの方々より、夜間にバスケットボールを行う音や、利用者がたむろすることで騒がしいなどの苦情があり、看板を設置し注意を促していましたが効果がなく、また、自治会からも要請があり、やむなくバスケットリングを取り外し、対応している状況です。

バスケットリングの取り付けに関しましては、自治会の意見も踏まえながら、公園周辺にお住まいの方々より、バスケットリングの再設置につきまして了承がいただけるのであれば、バスケットリングの再設置は可能と考えております。

## 3. 火葬場建設に向けた取組の強化・推進について

市内に火葬場がない現状に対し、今年度より火葬料等負担軽減事業を実施し、市民負担の軽減を図っていること、また、今年度より火葬場建設等検討プロジェクトチームを設置し、火葬場建設に向けた調査研究やその間の市民負担軽減に取り組んでいることは市議会としても評価している。

その上で、火葬場がないことによる市民負担は多大なものがあり、火葬場建設を望む市民の声は年々増加していることに鑑み、早期の火葬場建設実現に向け、より一層の取組の強化・推進をお願いしたい。

### 【 回 答 】

沖縄県内、特に中南部圏域では、火葬場施設の不足が深刻な状況となっており、本市においては、火葬場がないことにより市民の皆様に多大な負担をおか

けしてしまっている状況と認識しております。

今後の方針としましては、火葬場建設に向けた基礎調査、基本構想の策定を行い、本市の状況に適した火葬場機能・規模など、施設の整備方針について検討を進めてまいります。

また、令和5年度より開始した火葬料等補助事業を継続し、引き続き市民の皆さまの負担軽減に努めてまいります。